

# 04

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

## 実現できる企画を考える

### 【今日の目標】

昨年12月に住民と学生で考えたアイデアを、実現するための具体的な話し合いです。「あれもこれも」となりがちですが、実施するのは自分たち！の前提のもと、(野望は持ちつつも) 実施可能な企画立案を目指しました。

日程：平成27年3月10日(月)

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：17名

(阪南大学1名、漁協関係者2名、住民12名、行政2名)

### ■スケジュール

10:00 挨拶、事業趣旨(事務局)

10:10 阪南大学の取り組みについて(和泉先生)

10:20 班の選択(参加者の自由選択)

10:25 各チームで企画会議

(用意した「穴埋め」シートを使う)

11:45 「私たちの企画！」発表会

12:00 終了

\*この日、学生さんは「就活」のため、参加できませんでした。

### タコ壺で泉南をアゲる！

泉南市はタコ壺のまち。「タコ壺づくりの村」として世界的な遺跡、戒畑遺跡をはじめとして、弥生時代から現在にいたるまで、タコ壺漁歴数千年の歴史と伝統を持つ。この地域資源を活かした観光まちづくりプランが「タコ壺プロジェクト」です。

ここまでの取組みで、学生をアイデアをもとに、住民のアイデアも加わったプランが出来上がっています。ここで問題なのが、果たして実現できるのか？ここからは、プランの実現を目指した、具体的な話し合いになります。

### やりたいことを自分で選ぶ

和泉先生からのお話のあと、事務局からのこれまでの経緯について説明ののち、本番です。まずは、この日までに決まっていた3つのアイデアのうち、どれを取り組んでみたいのか、参加者の皆さんに選んでもらいました。

### 自分たちが実現させる企画

用意された「穴埋め」シートを順番にこなしながら、各班とも話し合いを行いました。ここで問題になるの



和泉先生からの話



かなり「前のめり」な皆さん

プログラム名 いちばん最後に考えて
誰がするのか(主催) 付せんに自分の名前を書いてここに貼る
何をするのか できること ひとこと付せんに
誰に 市内・市外、子ども大人、親子など
誰と 協力内容・協力先
いつするのか 開催時期

この日使ったシート



最後に各班の企画を発表

が資金と安全面。やりたいことはあるけれど、本当にできるのか？できる方法を皆さんで考えた結果をシートにまとめて、最後に各班の代表者が発表。どれも実現したいことを見据えた実現可能な内容です。

一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です！

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL:072-483-6789 maibun@city.sennan.lg.jp

■次回の予定「タコ会議(定例会)」ははじめます！

日時 4/17(金) 13時～15時・埋文にて

内容 ・タコ壺づくりの内容検討(5/9埋文で実施)

・スケジュールのすり合わせなど

